

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 756 事業名 和歌山市交響楽団運営交付金事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		社会教育費	
	目		文化振興費	
	大事業		文化振興事業	
事項		和歌山市交響楽団運営交付金事業		

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	4	文化・スポーツの振興
施策	2	芸術・文化の振興
取組	1	市民主体の芸術・文化活動の促進

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間		～	
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	文化振興課	富松 真矢子 (435-1194)	
関連課			

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず	○
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実			
市民の健康環境の充実		道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実			
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実			
その他		その他		その他			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か）	事業内容				
	交響楽団活動の輪を広げるため団体を育成する。	和歌山市交響楽団定期演奏会の開催 和歌山市市民会館 大ホール				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		団員数71名 主な開催事業 第44回定期演奏会 平成21年6月21日 市民会館大ホール 入場者数 1,000名	団員数70名 主な開催事業 第45回定期演奏会 平成22年6月20日 市民会館大ホール 入場者数 900名	団員数65名 主な開催事業 第46回定期演奏会 平成23年6月12日 市民会館大ホール 入場者数 1,000名	団員数65名 主な開催事業 第47回定期演奏会 平成24年7月1日 市民会館大ホール	

2 事業コスト

事業費 千円		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	240	240	240	240	240	240	240				
	伸び率 (%)	-	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			-100.0%	
	人件費	常勤職員	1,105	776	1,105	703	703	683	683			
		非常勤職員		206		92	92	81	81			
		小計	1,105	982	1,105	795	795	764	764			
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
その他												
一般財源 (税等)	240	240	240	240	240	240	240	240				
所要人数	常勤職員	0.14	0.1	0.14	0.09	0.09	0.09	0.09				
	非常勤職員		0.12		0.04	0.04	0.03	0.03				

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況					平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	交付件数					年度目標値	1	1	1	1	
						実績値	1	1	1		
	単位	件	全体目標値	全体目標達成度	103.1%	年度別達成度	109.2%	100.0%	100.0%		
						年度目標値					
	実績値					年度別達成度					
				年度目標値							
成果指標	団員数					年度目標値	65	65	65	65	
						実績値	71	65	65		
	単位	人	全体目標値	全体目標達成度	100.0%	年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
						年度目標値	850	850	850	850	
	実績値					年度別達成度	94.1%	105.9%	100.0%		
						年度目標値	800	900	850		

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載) B 1
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	交響楽団活動の輪を広げる意味でも重要な事業であり、定期演奏会の入場者も毎年、維持しており適正な補助金額(増額)を検討する。
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	適正な補助金額を検討する。